

就学前教育・幼小接続プログラムを策定

● 幼小中一貫教育の実施に向け準備を進めています

袋井市では、これからの新しい時代を見据え、「自立力」と「社会力」を兼ね備えた子供を育成するため、平成 32 年度から市内 4 つの中学校区ごとに施設分離型の一貫教育を実施することとし、幼児期からの一貫した教育を推進しています。

● 一貫した教育プログラム(カリキュラム)により子どもたちの力を効果的に引き出します

平成 32 年度からの幼小中一貫教育の実施に向け、現在は、3 歳児から中学卒業までの 12 年間において、すべての中学校区で共通して取り組む教育内容を系統的に整理した「袋井市幼小中一貫教育プログラム」の作成に取り組んでいます。(～30 年度末までに順次策定予定)

● 平成 30 年度から「就学前教育・幼小接続プログラム」を先行して実施します

このうち、「就学前教育・幼小接続プログラム (3～5 歳児。3 年間)」をこのほど策定し、平成 30 年度 4 月から実施することといたしました。

このプログラムでは、小中学校における学びを充実させるため、特に「非認知能力」や「思考力」の育成に重点を置き、発達段階ごとに身に付けたい力や経験させたい内容などを系統的に整理しています。

なお、「小中一貫教育プログラム (小 1～中 3 の各種教科カリキュラム等。9 年間)」については、平成 30 年度中の作成を目指し、作業を進めています。

子どもたちの力を効果的に引き出します

小中学校の9年間に、3歳児から5歳児までの幼児教育を加えた12年間を通して、一貫教育カリキュラムに基づいた教育を行うことで、系統的かつ効果的に子どもたちの力を育成します。

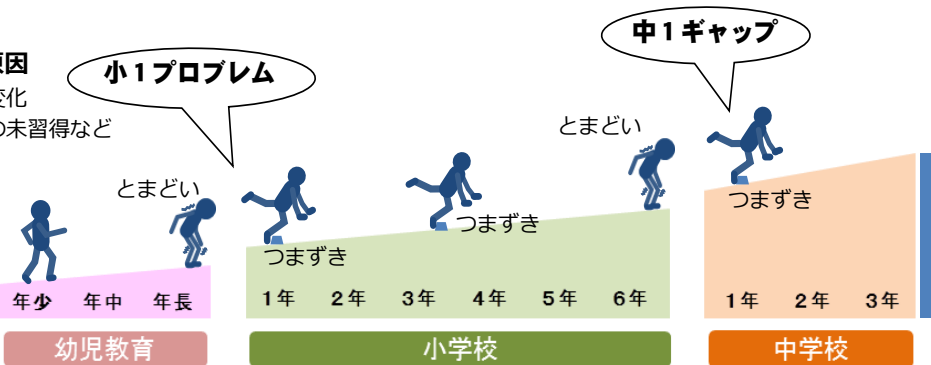
とまどいの原因

- ①生活習慣の変化
- ②対人スキルの未習得など

小1プロブレム

中1ギャップ

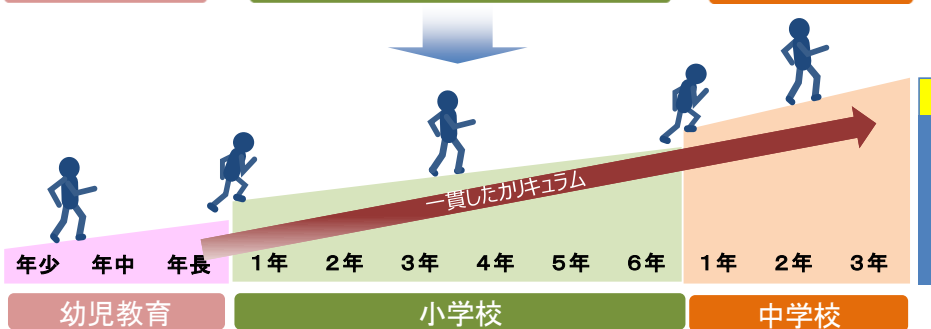
現在



小・中間の主な差異

- ①授業形態の違い
- ②指導方法の違い
- ③評価方法の違い
- ④生徒指導の手法の違い
- ⑤部活動の有無

導入後



幼小中一貫教育プログラム

小中一貫教育プログラム

教科カリキュラム (国語、算数・数学、理科、社会、体育など)

教科外カリキュラム (キャリア教育、生活指導、学習指導など)

H29、30年度策定

就学前教育・幼小接続プログラム

幼小接続カリキュラム

就学前教育カリキュラム

H29年度策定・H30年度～実施



「就学前教育・幼小接続プログラム」の特色

特色 1 「※1 就学前教育カリキュラム」で、就学までに身に付けたい力を明示し、幼児期から 15 歳の出口を見据えた系統的・継続的な保育を行います。

※1 就学までに身に付けたい力として、1 生活習慣 2 ※2 学びに向かう力 3 思考・表現の基礎となる力の 3 つの柱で押さえた「10 の姿」を示しました。年少期から年長期までの、発達段階に応じた子どもの成長の姿を整理し、系統的で継続的な保育を行います。

※2 好奇心、頑張る力、協同性などの力を指します。テストで測ることのできる読み書き計算などとは異なり、非認知能力とも呼ばれます。

特色 2 「※幼小接続カリキュラム」で、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ります。

※小学校に入学した子どもは、ゼロからのスタートではありません。幼児期の遊びを通した学びと育ちを基礎として、主体的に学校生活を作り出していけるよう、幼児期の「学びの芽生え」を小学校の「自覚的な学び」につなげます。

特色 3 「※思考力の芽生え」を重点化し、小中学校における「考える力」の育成につながる体験と学びの充実を図ります。

※「物の性質や仕組みなどに気付く」、「試行錯誤する」、「予想する」、「振り返る」など、様々な人やものとの関わりを楽しみながら、友達の様々な考えにふれ、自分の考えをよりよいものにしようとする「思考力の芽生え」を育みます。

特色 4 別冊に、※16 の保育実践例を掲載しました。就学までに身に付けたい力をどのように育てるかを具体的に示しました。

※活動のねらい、環境の構成、幼児の姿、援助のポイント、幼児期からつながる小学校での学びや育ち、などを明記しました。これまで行ってきた教育・保育を、身に付けたい力に沿って整理し、改めて価値付けました。

● 幼小中一貫教育の目標と評価指標

一貫した教育プログラム（カリキュラム）など幼小中一貫教育に関する一連の取組が実りあるものとなるよう、袋井市幼小中一貫教育推進委員会（会長 熊倉啓之 静岡大学教育学部教授）や市議会民生文教委員会における検討結果を踏まえ、「袋井市の幼小中一貫教育の目標と評価指標」を設定しました。

今後は、これらの指標（数値）に基づく評価・検証を、毎年度行うことで推進を図ってまいります。

重点指標 8 項目・・・目標に対する「成果」、「目指すべき状態」を直接的に表すもの。

目標値（完全実施 3 年経過時点）を定める。

関連指標 30 項目・・・目標に対する「成果」、「目指すべき状態」を間接的に表すもの。

目標値は定めない。